

## 観光 Re:Start

## 住んでよし、訪れてよしの観光地であり続けるために

ポストコロナ期を迎え、観光はどのように変化したのでしょうか。オーバーツーリズム、脱炭素、地域の魅力の深掘りなど、私たちは観光の Re:Start にあたって、いくつもの課題やタスクを抱えています。

地域がより持続可能に、そして多くの人々から選ばれ続ける観光地として成長し続けるために、TCVBは令和5年度の共同研究\*として「脱炭素ロードマップ」「インバウンド目線」「オーバーツーリズム」の3つの視点から、パートナーと共に検証・考察しました。各研究成果をご報告します。

**2024年3月18日（月） 14時～16時**

■主催：公益財団法人東京観光財団

■開催形式：zoomウェビナー ■参加費：無料（定員500名）

■申込フォーム：[コチラ](#)（ご登録後視聴URLが送付されます。）**セッション①脱炭素ロードマップ（14:10～14:45）**

『A NET ZERO ROADMAP FOR TRAVEL & TOURISMから読み解く脱炭素に向けた  
具体的アクションの考察』【共同研究パートナー】JTB総合研究所

気候変動対策が世界の喫緊の課題となる中、東京都においても2050年ゼロエミッションを掲げています。

しかし、国内の「観光・旅行業界」に向けた具体的なロードマップは描かれていません。

本研究ではWTTCが2021年に発表した調査レポート「A NET ZERO ROADMAP FOR TRAVEL & TOURISM」

を国内で初めて翻訳し、その内容をもとに、特にCO2排出量算定が難しいと言われる旅行会社の

脱炭素の課題やステップを考察しました。



JTB総合研究所  
主席研究員 サステナビリティ担当  
日本サステナブルツーリズムイニシアティブ  
常務理事・事務局長  
熊田 順一 氏

**セッション②インバウンド目線（14:45～15:20）**

『ポストコロナにおける東京の魅せ方 タイムアウトエディターの視点から』

【共同研究パートナー】タイムアウト東京

好調な回復を見せるインバウンドですが、地域はこれまで通りのプロモーションの継続で良いのでしょうか。

本研究では、ロンドン発祥の世界的シティガイド タイムアウトの5つの都市から編集者を招き、いま東京や

日本の何が人々を惹きつけるのかを議論。地域の魅力の深掘り、プロモーションの新たな切り口を探ります。

ORIGINAL Inc. 取締役副社長  
タイムアウト東京 副代表  
東谷 彰子 氏

**セッション③オーバーツーリズム（15:20～16:00）**

『オーバーツーリズムを防ぐために～東京・台東区での検証を踏まえて～』

【共同研究パートナー】じゃらんリサーチセンター・台東区

「オーバーツーリズム」の定義、指標、地域でのモニタリング方法に明確な答えはまだ

ありません。本研究は、いま注目を集めるオーバーツーリズムについて、改めてメカニズム

や引き金となる住民感情にフォーカスして整理。また、旅行者でにぎわう台東区・浅草の

人流解析やインバウンド旅行者へのヒアリング調査で見えてきたものとは？



じゃらんリサーチセンター  
研究員 長野 瑞樹 氏



台東区文化産業観光部  
観光課長 平林 正明 氏

■各研究成果物は、[TCVBのウェブサイト](#)に掲載されています。ぜひお役立てください。（一部3月末までに公表予定）

■お問い合わせ先

公益財団法人東京観光財団総務部総務課（企画調査）山村・工藤 TEL：03-5579-2680/[saniyokaiin@tcvb.or.jp](mailto:saniyokaiin@tcvb.or.jp)

\*（公財）東京観光財団（TCVB）では、これからの観光課題について、民間事業者等と共同で調査・研究を行い、その成果や得られた知見を広く共有・発信する取組を行っています。詳しくは、[企画調査に関する事業／TCVB 公益財団法人 東京観光財団](#)をご覧ください。